



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



アオバズクの親子・第2弾 (撮影：ハネひとみさん)

## 野鳥さが 213号 主な内容

- 役員会報告 .....2ページ
- 支部からのお知らせ .....3ページ
- 「2017 さが環境フェスティバル in 森林公園」のご案内.....4ページ
- 「モニ1000研修会 in 佐賀」開催のご案内.....5ページ
- 各地の観察会報告 .....6ページ
- 皆さんからのおたより .....11ページ
- 有明海の満潮時刻.....12ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から.....13ページ
- 近隣地区の観察会情報.....14ページ
- 観察会会場までの案内 .....15ページ
- 観察会などのお知らせ（2017年10月～11月）.....16ページ



## 役員会報告

(事務局:島田洋)

【日 時】2017年8月11日、9月3日

【出席者】(8/11)宮原明幸、青柳良子、佐久間仁、馬場清、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、中村さやか、江口富美子、蒲原留美、島田洋 (9/3)宮原明幸、青柳良子、橋本泰博、馬場清、田中丸雅雄、中島由美子、江口富美子、山崎章宏、中村さやか、蒲原留美、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) カラス調査について

佐賀市からの委託事業として佐賀城公園周辺でカラスのカウント調査をしている。10月1日に城内公園周辺4か所でカウントの予定。調査員6名は確定。

(2) 環境フェスタについて

10月14、15日に佐賀市の森林公園で環境フェスタが開催される。佐賀県支部はカササギの巣や野鳥写真の展示、野鳥のぬり絵、エサ台づくりを予定。13日の午後から準備をする。協力をお願いしたい。

(3) アジア湿地シンポジウムについて

11月7日～11月11日まで佐賀市でアジア湿地シンポジウムが開催される。発表はすべて英語。参加には事前登録が必要。参加費は25,000円。高額。詳細は事務局長の中村さやかさんにお尋ねください。

(4) 愛鳥モデル校活動&ツル交流会について

今年度も引き続き、東山代小学校と玄海みらい学園の2校が愛鳥モデル校となっている事業内容や観察会の時期などについての意見交換を行った。また、出水市の荘中学校と伊万里の東山代小学校とのツル交流会が12月2日に予定されている。

(5) カササギ巣台について

佐賀県支部は九州電力にカササギの保護への協力を求め続けてきた。佐賀市や小城市の電柱に九州電力がカササギ用の巣台を設置した。

(6) 自然公園指導員について

環境省は佐賀県を通じて、佐賀県支部に自然公園指導員の推薦を依頼してきた。2名を推薦する。任期は2年である。

(7) 保険関連について

探鳥会では、不慮の事故がおきるかもしれないため、保険をかけたい。



佐賀県支部では一般参加者を対象とした保険には一応は加入済みである。しかし、観察会のリーダーを対象とした保険には加入できていない。今後はリーダーの事故を対象とした保険に新たに加入したい。また、一般参加者の事故を対象とした保険をさらに充実させたい。損害保険会社から二人の方に役員会に来てもらって保険について説明してもらった。支部としては賠償責任保険と傷害保険に加入することを検討している。

(8) 佐賀県支部会員の名簿について

佐賀県支部会員御名簿を作成した。個人情報に掲載されており、取り扱いは慎重さを求められる。

(9) その他、今後の行事予定などについての協議を行った。



## 支部からのお知らせ

### ◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

212号(8月号)でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

8月入会	重田 研一郎さん(佐賀市大和町)
9月入会	岩本 朝昭さん(多久市多久町)
	岩本 佳子さん
	岩本 芽依さん
	岩本 千聖(ちひろ)さん

以上5名の方が9月末現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は218名となりました。

これからも皆さんのお知り合いの方で「自然に関心のある方」がいらっしゃいましたら是非、野鳥の会入会のお誘いをして下さい。

一人でも多く「野鳥をまもる仲間を増やしましょう！」

### ◆ (公財) 日本野鳥の会 普及室主催「リーダーズフォーラム」のお知らせ

【時期】 2018年1月20日(土)13:00～21日(日)12:00

【会場】 愛知県名古屋市 邦和セミナープラザ

【参加費】 10,000円

【テーマ】 (仮題)「探鳥会について話そう」

【定員】 50名

参加希望の方は 宮原(090-2507-7085)・中村(080-8863-5659)  
青柳(090-1659-7353)のいずれかに連絡して下さい。



## 「2017さが環境フェスティバル in 森林公園」のご案内

### 日本野鳥の会佐賀県支部 4回目の出展！

「さが環境コラボ事務局 特定非営利活動法人 温暖化防止ネット」の呼びかけです。  
「野鳥たちが安心して棲める環境を！」という願いを多くの方に伝えられるといいな！という想いで今年も出展します。お知り合いの方など誘っていらしてください。

【日 時】 10月14日(土)・15日(日) 10:00～16:00

【場 所】 県立森林公園(佐賀市久保田町)

【展示内容】

- ・佐賀県内で観られる野鳥の写真展示
- ・佐賀県鳥「カササギ」に関する特別展示(本物の巣を展示します。)とバッジ販売
- ・アオバズクの剥製 ツバメの巣と卵の展示
- ・野鳥の生態がわかるDVD映写

【体験コーナー】

- ・「庭に野鳥を！」・牛乳パックを使っての「エサ台づくり」
- ・野鳥の「ぬりえ」

【入会促進のための取り組み】

- ・1年間会費無料の「お試し会員」のお誘い

【その他】

- ・野鳥関連グッズの販売
- ・来場者へのプレゼント(野鳥の写真ハガキ・財団本部からのプレゼント品)

などを考えています。

そこで 会員の皆様にはお願いです。

次の6つの時間帯でお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、

青柳良子(090-1659-7353) まで ご連絡ください。

ブース当番は、来場者数のカウント、ぬりえやエサ台作りの補助、写真の説明、プレゼント渡し・・・などの仕事があります。(各時間帯とも5～6名)

人手がたくさん欲しいのでよろしくお願いいたします。

13日(金) 前日準備 ①14:30～16:30

本庄公民館からパネル・机を運び、組み立てと写真展示をする。

14日(土) ②9:30～12:30 ③12:30～16:00

15日(日) ④9:30～12:30 ⑤12:30～16:00

16日(月) ⑥9:00～10:00(搬出作業 森林公園～本庄公民館)

お手伝いいただいた方には昼食代として500円お渡しします。

ご連絡いただいた方に集合場所や駐車場などをお知らせします。







## 「モニ1000 研修会 in 佐賀」開催のご案内

財団本部自然保護室より「モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査の研修会」についての案内が届きました。

こんにちは、財団本部自然保護室です。今回は、モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査の研修会についてご案内させていただきます。鳥類調査に興味・関心がある方、これから調査にチャレンジしてみたいという方にもお勧めの研修会です。もちろんベテランの方も大歓迎です。私たちと一緒に鳥類調査の方法について、体験を交えながら学びましょう！ところで、皆さん、モニタリングサイト 1000 という調査をご存知ですか。環境省が実施している長期的なモニタリング調査で、野鳥の会では、全国 420 箇所にある調査サイトで調査を行っています。実際の調査は各地の支部の皆さまに実施していただいておりますが、しかし、各地で調査員不足や、調査員の高齢化が進んでいます。そのため、調査員を増やすために毎年全国数箇所で開催を行なっています。

今年は、佐賀県内で開催することとなりました！（詳細は以下をご確認ください。）  
皆様のご参加、お待ちしております！

### 【日時・場所】

**2017年11月18日(土) 13:00~17:00** ゆめぶらっと小城  
**2017年11月19日(日) 9:00~12:00** 佐賀県林業試験場

### 【プログラム】

#### —1 日目(室内講義)—

モニタリングサイト 1000 事業の概要とこれまでの成果を紹介します。参加者による事例発表と情報交換も設けます。繁殖分布調査についても情報交換をいたします。講義終了後には、懇親会も予定しております。

#### —2 日目(野外実習)—

鳥類のスポットセンサス法と簡易植生調査の説明と実習を通じて、実際の調査をイメージしていただきます。

### 【申込み方法】

メール、ファックス、または専用サイトから受け付けております。

- ・メール [moni@wbsj.org](mailto:moni@wbsj.org)      ・FAX 03-5436-2635
- ・専用サイト <http://www.wbsj.org/mng/?p=987>

※お申込みいただいた方には、後日詳細な内容をお伝えいたします

問合せ：財団本部(03-5436-2633)、野口または葉山まで





## 各地の観察会報告



### ■雲仙・あざみ谷観察会報告（長崎県雲仙市）

【日時】 平成 29 年 7 月 23 日

【参加者】 宮原明幸、中原正義、長岡保、加藤芳隆、中島由美子、江口富美子、田辺憲子、久富文江、八木ひとみ、古賀郁香、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】 アオゲラ（声）、ウグイス、オオルリ、キビタキ、クロツグミ、コゲラ（声）、シジュウカラ、センダイムシクイ、ソウシチョウ、ヒヨドリ、ホオジロ、ミソサザイ、メジロ、ヤブサメ（声）、ヤマガラ、ホトトギス（声）

【案内役より】

個人的には 17 回も出かけたのに、支部の観察会としては初めての場所でした。ここは天然の冷房の中に黙って座っているだけで、至近距離に鳥の姿を見られることは補償付きなのです。それに、滅多に見られない水浴びシーンもあるのです。だから、喜んでいただけるとは思っていました。皆さんの「真剣な顔つき」と「暖かい感想メール」を見て、とても happy です。

【参加者の声】

（中島）あざみ谷は一度行って見たいと思っていましたが、噂に違わずとても良い所でした。いろいろな鳥が出てとても楽しかったです。なかでもクロツグミみ成鳥とセンダイムシクイの頭中央線がはっきりと見えたのが圧巻でした。ウグイスも出ずっぱりで、よくよく見ることができました。個体数が相当多いのでしょうか？ 真夏なのに涼しくて、近くで見られて久しぶりに至福の時でした。

（江口）朝が早くても日帰りは良いですね～。車中の時間も、鳥の事に詳しい方々との会話に、「へ～、そうなんだ」と聞き入っていました。(°^°) 鳥はソウシチョウがたくさん見られました。鳴き声は聞いたことありましたが、実際には初めてみました。きれいな鳥ですね。籠抜け鳥だとも聞き、私は「頑張ってるな」と思いました。次回、少し遠出の日帰り観察会が楽しみです

（田辺）昨日は楽しい探鳥会を企画していただきありがとうございました。野鳥のたくさん水浴びのシーンを見ることができ満足の日でした。じっくりと同じところで野鳥を観察するのもいいものですね。キビタキの鳴き声を知りたいと思っていたのですが、それも最後の方で果たせてうれしかったです。

（八木）アザミ谷は登山の途中に通っただけで、じっくりと観察したのは初めてでした。案内していただき、水場にやってくる鳥もすぐに見つけていただき、とてもありがたかったです。鳥見の難しいこの時期、涼しくて、座って待っているだけで次から次に珍しい鳥が出てきてくれる夢のような観察会でした。お世話していただいた役員の皆様、ありがとうございました。

（古賀）夏とは思えない涼しさの中、普段見られない水浴びをする鳥達の可愛い姿が見られて最高でした！ いっぱい見れたソウシチョウは、あんなに小さくて可愛いのに、他の鳥を牽制するほどの小さな権力者だったので驚きました！ そして幼鳥の水浴びのやり方の、探り探りな感じが可愛くて良かったです。なかなか行く機会のない場所で非常によい体験ができたので、また行ってみたいと思いました。(^^)

あと、アイスと山の空気が美味しかったです！



①水場を観察中



②キビタキ



③ソウシチョウ

(写真提供：橋本泰博さん①／八木ひとみさん②③)

## ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 8 月 11 日

【参加者】松田信義、中島修、中島由美子、川原直嗣、徳渕義実、長岡保、清水恵弘、川部静也、川中正隆、川中ジェニファー、朝田清子、中村さやか、中村翠、古澤進、大藤和浩、大藤孝子、古賀郁香、水田稔、古川功宗、古川アヤカ、松原伸一、馬場清、久富文江、大川幸子、中垣直子、八木ひとみ、江口富美子、高山英一、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、シベリアオオハシシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、ホウロクシギ、キジバト、ツバメ、ホオジロ、スズメ

【案内役より】

連日猛暑日が続き、当日も集合時刻の9時には日差しも強く、暑い。それでも多くの参加者が集まる。本日のテーマは数日前より滞在中の珍鳥「シベリアオオハシシギを見よう。」北部九州豪雨で干潟に漂着した流木撤去工事のため、シチメンソウヤードには立ち入り禁止のバリケード。まずは堤防中段より観察を始める。繁殖を終えて早くも戻ってきたシギ・チドリが2000羽ほど干潟に群れる。

しばらくしてシベリアオオハシシギの情報が入る。西へ500m、汗を出しながら歩く。やっと嘴が大きくシックな姿のシベリアオオハシシギにご対面。

満潮となり干潟が水没し、猛暑のため早めに鳥合わせをして、終了する。

## ■椿山・榎原湿原宿泊観察会報告（唐津市）

【日時】 平成 29 年 8 月 19 日～20 日

【参加者】中原正義、長岡保、塘健、水田稔、中村さやか、中村弘一郎（中2）、中村翠（小4）、青柳隆、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】コサギ、ダイサギ、アオサギ、サシバ（声）、コジュケイ（声）、キジバト、ツバメ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ホオジロ、カケス（声）、ハシブトガラス、ウグイス（声）、ソウシチョウ（声）

【観察された野草】コウホネ、ガマ、コマツヨイグサ、アジサイ、キンミズヒキ、オミナエシ、オトコエシ、アキノタムラソウ、コオニユリ etc・・・（椿山周辺）



サギソウ、ナンバングセル、コバギボウシ、ヌマトラノオ、マアザミ、ユウスゲ、サイヨウシャジン、サワギキョウ、ミズトンボ、カキツバタ、ワレモコウ、コオニユリ、カワラナデシコ、オミナエシ、オトコエシ、ヌスビトハギ etc・・・(檜原湿原)

【観察された生きもの】ハッチョウトンボ(♂・♀)、ベニイトトンボ、キイトトンボ、モノサシトンボ、モウトンイトトンボ、マムシ etc・・・(檜原湿原)

【案内役より】

久しぶりの鳥巣高原での集まりでした。以前に参加した事のある方は中原さんのみ。現地ですべてお顔を合わせた方が多かったのですが、飲み始めればたちまちうちとけ、野鳥の話はもちろん社会情勢など話題は尽きません!

夜の焼き肉・たこ焼きパーティーと花火は、若い中村兄妹の参加でたいへん盛り上がり、楽しいひとときとなりました。

花火の後は地面に座り込んでの二次会(^◇^)

翌朝は「さむ〜い!」の声。標高600mは気温21℃でした。(新聞によると下界は24℃) まず、椿山公園一周のB.Wです。歩きはじめると「ギャーギャー」とするどいカケスの声! 姿は見えませんでした。すぐそこで鳴いているようでした。にぎやかな鳥の声はソウシチョウ! やぶの中からは「チャッチャツ・・・」とウグイスの声。もう地鳴きになったんですね。林の中ではエナガが忙しく飛び交っています。池の水はとても少なく水不足が懸念されます。ツバメが水面をかすめて水を飲む様子がよくわかります。充分腹ごなしをしての朝ご飯はとても美味しかったです。

9時過ぎ、檜原湿原に向けて出発! 檜原湿原では福田康典さんが待っていてくれました。初めて本物のサギソウを見た水田さんは「写真で見たのより小さいのでビックリ」とのこと。本物を見ることの大事さを感じました。

檜原湿原の案内人をされている川原直嗣さんもいらして、約1時間半ほど花やトンボの観察をしたあと、近くのうどん屋さんで昼食。盛りだくさんのおかずの割にはお安いお値段でびっくり。精算したらなぜか470円も余ってしまいました。

どなたが多く出されたのかわかりませんので「支部の会計に入れましょう」ということにし、親睦を深め楽しかった「宿泊研修会」は午後1:30に全員元気で解散となりました。

開催時季がちょっと遅くて、ホトトギスやカッコウの声が聞けなかったのは残念でしたが、参加して下さった皆さんには思い出に残るイベントになったと思います。



(写真提供: 青柳 隆さん)



檜原湿原のサギソウ



## ■ツバメのねぐら観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 8 月 27 日

【参加者】 山下哲郎、田辺憲子、松尾久則、山田茂、徳渕義実、水田稔、川原直嗣、青柳隆、川部静也、川上武彦、古賀郁香、西村そうき（4）、有森あやね（6）、倉橋ゆうへい（4）、松原紳一、松原愛、城野ここあ（4）、高山英一、高木義彦、高木宏子、江口富美子、中島修、中島由美子、城野もとき、蒲原留美、林裕子、野田敦子、寺松琴江、今泉隆、今泉りえ子、大田芳洋、大田久美、久木田憲司、永尾操、永尾恭子、吉田有花、岩本朝昭、松本桂子、岩本佳子、岩本芽衣（小3）、岩本千聖（5）、松本伊織、伊藤進、伊藤香英、伊藤菜の花、牛島（6人）、馬場清、青柳良子、永島博（案内役）

【観察された野鳥】 ツバメ（〇万羽？）、スズメ（〇千羽？）、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、キジバト、ヒバリ、セッカ、カワラヒワ、ハシボソガラス

【案内役より】

去年は雨で中止だったので、実質 2 回目の観察会となりました。 総勢 55 名とたくさんの方々が集まってくださいました。 ボーイスカウトの子供達、家族連れの方々、遠路はるばる伊万里や福岡などからもいらっしやってくださいました。 ツバメに興味関心を持っておられる方がこんなにもいらっしやるとは、驚きでもあり嬉しくもありました。

さて当のツバメ君たちはといたしますと、そんな私たちのはやる気持ちを知ってか知らずか、日没の 6 時 50 分を過ぎてもまだまばらです。 10 分程経ちました。 いつのまにか上空にはたくさんのツバメが集まってきています。 高く遠いせいか双眼鏡で見れば分かるのですが、肉眼では分かりません。

だんだん近づいてきます。 田んぼの上、芦原の上空、たくさんいます。そしてアシ原へ向かって飛びこんでいきます。 背後から風切り音をたててすぐ近くをすごいスピードで入っていきます。「うわー！」「きゃー！」歓声が上がります。 粋な演出をしてくれます。 堤防の上を次から次へと横切っていきます。 そして、アシ原のすぐ上ではたくさんのツバメが一斉に移動します。「すごーい！」また歓声が上がります。 2 万羽ぐらいいるのではないのでしょうか。

やがて・・・終焉です。 時計は 7 時 15 分を差していました。

今回天気が良すぎたのか、頭上での乱舞が見られませんでした。満足して帰っていただいたのではないかと思います。



（写真提供：永島博さん）

## ■室内学習会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 9 月 3 日

【参加者】 橋本泰博、川原直嗣、川上武彦、島田洋、高木義彦、高木宏子、宮原明幸、中島修、中島由美子、古川恵子、田辺憲子、益田ミドリ、久富文江、水田稔、古賀郁香、永島博、田中丸雅雄、江口富美子、津山悦子、馬場清、蒲原留美、服部二郎、青柳良子（案内役）

【案内役より】

9月になったとたんに連日の猛暑は嘘のように過ぎ去り、さわやかな風が吹きはじめました。暑いので観察会はナシでいきなり涼しい室内で・・・と計画したのですが、学習会前に一回りした永島さんから「エゾビタキがいた」と報告がありました。季節が確実に移り変わっていることを感じます。

今回の学習会は「よく見る鳥の見えない話」というテーマで、支部長の宮原明幸さんからお話していただきました。

初めにNHK [ダーウィンがきた]で以前放送された「したたかな隣人・スズメ」というDVDを観ました。普段見られないスズメの生活の様子が映像を通してよく分かりました。宮原さんは「野鳥には三大リスクがある。」というところからお話が始まりました。 三大リスクとは・・・

- 1、渡り・・・国境のない野鳥は地球規模で移動する棲み分けの知恵を、遺伝子に刻み込み 毎年律儀に「渡り」を繰り返す。  
生命の危険を冒してまでも渡って来るわけとは・・・
- 2、繁殖・・・自然環境が破壊されて行くなかで、野鳥たちが安心して子育て出来る場所が少なくなっている。身近なスズメやツバメでも・・・  
さらに育ったヒナが生後1年を迎えられるのはホンのごく一部にすぎない。ほとんどのヒナは1年未満に死んでしまうとのこと・・・
- 3、換羽・・・子育てが終わると羽が抜け、新しい羽が生える。この時野鳥たちはとても体力を消耗する・・・

などのお話を聞いてから、参加者が普段気になっていることなど出し合いました。一週間前に「ツバメのねぐら入り」を観て来ただけにツバメへの関心が高く、質問も色々出たり、ほかの野鳥でねぐらをつくる種類・場所なども話題になりました。また、「鳥目」は暗くなると目が見えなくなるとのことだが、実際には野鳥の目はとてもいい！ ノスリは人間の8倍もの視力があるとのこと。いつでも望遠鏡で見ているような眼なのだ！とか 人間には見ることのできない紫外線まで分かるとか・・・「まばたき」はするのか？ 瞬膜とは？ 臭覚はあるのか？ 等々野鳥に関するさまざまな疑問が出ました。

これからの野鳥観察では、今回のお話から今までとちょっと違った観察の仕方をする方もいらっしゃることでしょう。カラスの瞬膜！見てみましょう！

野鳥は知れば知るほど「おもしろい！です。 落ち着いて「座学」も楽しかったですね。

※9月10日（日）の「ヤング探鳥会」の報告は都合により、次号に掲載します。

全国各地より約80名もの参加者があり、大盛況の様子は次号です。お楽しみに・・・



## 皆さんからのおたより



### ●「普通動物図譜の鳥たち 第4回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回登場の鳥たちは留鳥のセグロゴイとセキレイ類のうちのセグロセキレイ・ハクセキレイ・キセキレイの3種です。セグロゴイはゴイサギのことです。セキレイ類のことを2014年に亡くなった小城町晴気生まれの母は生前「いしたたき」と呼んでいたことを思い出しました。この時期の渡りのシギチ類はこの図譜には掲載されていません。そのかわりではないですが「だてう・こんどうる・えみゆう・くじやく」など動物園で見られるものが掲載されています。



せぐろせきれい、はくせきれい、きせきれい



せぐろごい（ゴイサギ）

### ●「アメリカ・オレゴン州の旅」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

8月にアメリカ・オレゴン州へ皆既日食を見に行きました。空港でレンタカーを借りて主人の運転で毎日大移動。計画が大雑把なので車のナビだけが頼りです。ナビ子さん（日本語を話す）と呼び、案内してもらいました。ナビ子さんは移動距離が短いのを優先するので、山の中で道が閉鎖されていることがしばしばあり困惑しました。ガソリンを入れる方法もさまざまでした。ド田舎ではカードは使えず現金だけ。郵便番号の入力が必要なスタンド、店舗で給油の前払いが必要なスタンドといろいろありました。オレゴン州の広大な畑では小鳥を狙う猛禽、ハヤブサ、コチョウゲンボウ、チュウヒなどを見かけました。ヒメコンドルは頭上を何羽も何度も飛んでくれました。皆既日食観測地でカムリウズラを見つけて大喜び！ホシムクドリは群れていました。ワシントン州のレーニア山ではステラーカケスやクラークホシガラスなど。捜していたブルーージェイはアメリカ東部にしかいないことがわかりました。美しいキャノンビーチでは初見のウミガラスが繁殖していました。ビーチに何羽ものウミガラスの死体がありました。捕食された跡はありません。飛んでいるウミガラスを見ましたが飛ぶのは得意ではなさそうです。上手く飛べなくて岩にあたって死んだのかもと思いました。カモメが波打ち際で小競り合いをしていました。





どうやら波打ち際でなにか好物が採れるようです。 広大な自然の中で鳥や花を楽しんできました。 デジブックにしたのでご覧いただければ幸いです。

【デジブック】

『 アメリカ北西部の旅 1 』

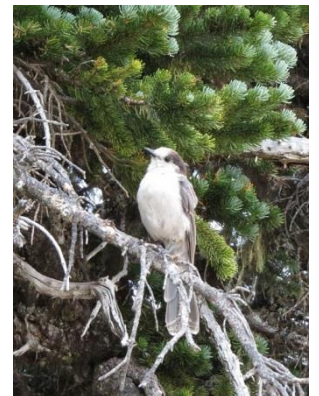
<http://www.digibook.net/d/8145815fa04c9cb8a89308441a87969e/?m>

『 アメリカ北西部の旅 2 』

<http://www.digibook.net/d/7cc587d390ceb6bd305488d2c885568a/?m>

『 アメリカ北西部旅行 3 』

<http://www.digibook.net/d/679585d7814894f8b8d18a426e96d6ce/?m>



左から：カムリウズラ、ステラーカケス、  
クラークホシガラス、ハイイロカケス



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



	時 刻	潮高 (m)		時 刻	潮高 (m)
10月20日	9:27	5.7	11月18日	9:05	5.4
10月21日	10:01	5.6	11月19日	9:41	5.4
10月22日	10:31	5.5	11月20日	10:14	5.3
10月23日	11:00	5.3	11月21日	10:44	5.2
10月24日	11:27	5.1	11月22日	11:13	5.1
10月25日	11:56	4.8	11月23日	11:42	4.9

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東よか海岸  
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他  
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）







## 最近の新聞・情報誌の記事から

東よか干潟に舞い降りるダイゼンの群れ―佐賀市東与賀町で



### 豪雨で流木漂着 佐賀の干潟 渡り鳥 今年もお帰り

国際的に重要な湿地の保全を目指す「ラムサール条約」に登録されている佐賀市の「東よか干潟」で、シギ・チドリ類が秋の渡りシーズンを迎えている。

今年7月には九州北部豪雨によって発生した大量の流木が漂着し海岸を埋め尽くした。日本

野鳥の会佐賀県支部の田中丸雅雄さん(70)は「大雨の後にはヨシが漂着するが、今回は大きな丸太が多く驚いた」。県や市、漁協などが約1カ月半かけて流木を撤去した。

元の姿を取り戻した干潟には、白と黒のコントラストが鮮やかなダイゼンの群れが舞う。チドリ科の渡り鳥で、夏にロシア北部などで繁殖し、冬は東南アジアの温暖な地域で過ごす。東よか干潟には、春と秋の渡りの途中に飛来し、越冬する個体もいるという。【野田武、写真も】

(17/9/13付け：毎日新聞) 田中丸雅雄さん(佐賀市) 提供

## 探鳥日記 中村 さやか

トンビと呼ばれますが、正式には「トビ」といいます。晴れた天気の良い日に飛びながら「ピーヨロロロ」と鳴く姿を見たことがある方も多いのではないのでしょうか？

猛禽類なのですが、生きた獲物はほとんど、というか全く捕まえることはありません。雑食性で専ら死んだ魚などを食べています。カラス類と食性が似ているため、よくカラスたちと争いになります。必ず負けてしまいます。

トビは飛んでいる姿を見ることが多く、あまり近くで観察できる機会はありませんが、猛禽類にしてはかわいい優しい顔をしています。ちょっとタヌキに似ている気がします。(日本野鳥の会佐賀県支部事務局長・中村さやか)

かわいい優しい顔



(17/9/29 付け：  
佐賀新聞)  
事務局・中村さやかさんが連載中の「探鳥日記」  
(月1回、最終金曜日)





## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：10月1日(日)、11月5日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：10月3日(火)、11月7日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：10月14日(土)、11月11日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：10月8日(日)、11月12日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：10月15日(日)、11月19日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：10月22日(日)、11月26日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：10月8日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：10月15日(日) 9:00 溪流の鳥・星野川~源流の森探鳥会 (企画探鳥会)

場所：八女市・星野村~奥八女源流の森 / 集合：9:00 八女市池の山公園駐車場

担当：松富士将和さん TEL：090-7159-3933

日時：10月22日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：みやま市・黒崎公園 / 集合：9:00 黒崎公園第1公園グラウンド

担当：野田達行さん TEL：090-7446-9047

## ~編集部からのお知らせ~

①カラー支部報のインターネット配信を実施しています。

現在 60 名以上の方が利用されており、皆さん「とてもきれい」「写真がすごく見やすい」と好評です。インターネットができるパソコンをお持ちの方は是非配信登録をしませんか。配信希望の方は編集部までご連絡ください。また、最新号の1つ前の号を公開しています。下記の URL (アドレス) にアクセスしてみてください。

「 [http://www.geocities.jp/f\\_baba841](http://www.geocities.jp/f_baba841) 」

【アクセスの方法】★インターネット表示ソフトのアドレス入力スペースに、上記の URL を入力して「Enter キー」を押します。

★「編集 “B” の部屋・日本野鳥の会佐賀県支部報サンプルページ」が表示されます。

★その中の『支部報「野鳥さが」最新直前号』をクリックするとメニューが表示されますので「開く」をクリックすると支部報が表示されます。(PDF ファイルを読めるソフトが必要です。)

★うまく見られないという方は編集部・馬場(下記)までご連絡下さい。

②詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

③投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 TEL:0942-84-4391 携帯:090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)







# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①10/14~15 ⑥11/26 佐賀市・森林公園



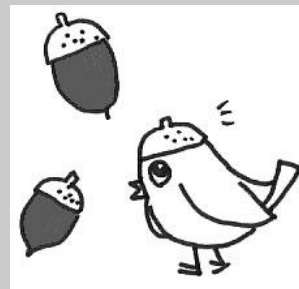
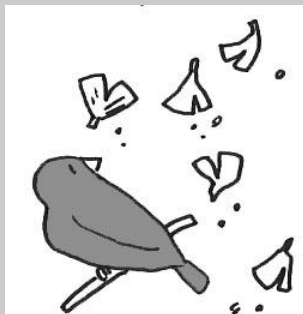
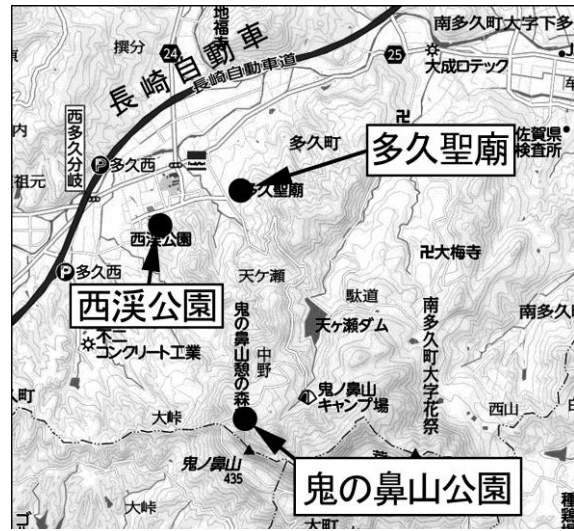
②10月22日 ⑤11月18日 東よか干潟



③10月29日 佐賀市・林業試験場



④11月5日 多久市・鬼の鼻山公園





## 観察会などのご案内 (2017年10月～11月)

### ① 10月14日(土)～15日(日) 2017 さが環境フェスティバル in 森林公園(佐賀市)

[時間&場所] 両日とも10:00～16:00  
佐賀市久保田町の県立森林公園内  
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353  
※スタッフ募集中! 詳しくは4ページの案内をご覧ください。

### ② 10月22日(日)⑤ 11月18日(日) 東よか干潟(大授瀬)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00  
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台  
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
[見どころ] 干潟の主役はシギ・チドリたちから、カモやカモメたちになっています。

### ③ 10月29日(日) 林業試験場観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00  
佐賀市大和町の県林業試験場駐車場  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ]  
※当日は、林業試験場の建物は閉館しており、トイレは使用できません。

### ④ 11月5日(日) 鬼の鼻山公園観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00  
多久市の鬼の鼻山公園駐車場  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 展望台のある山頂までは歩いて15分程度、360°の展望が待っているそうです。ウォーキング&低山の鳥たちを楽しみましょう。

### ⑥ 11月26日(日) 森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00  
佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
※工事の影響で環境が変わってしまいましたが、森林公園観察会は支部の原点です。みんなで盛り上げていきましょう。



### 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636  
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸  
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)  
 〒849-1315 鹿島市三河内2974-1  
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」